

平成28年度 公益事業

富岡町社会福祉協議会 富岡町生活復興支援おだがいさまセンター実績報告書

〈基本方針〉

平成28年度は、平成29年度4月を帰還目標に町行政と関係機関等と共に、前向きで懸命な努力をしてきました。

未だやむをえず避難先での生活を継続しなければならない方々に対しても等しく寄り添い、コミュニティを絶やさぬよう、支援活動を継続してきました。

また、平成28年度は、応急仮設住宅から復興公営住宅や自主再建住宅への住み替えが進み、仮設住宅居住者を大きく上回りました。生活の形態の多様化傾向もさらに進み、結果として、新たな居住地でのコミュニティの構築等、課題がより一層浮き彫りになってきました。

そのような現況の中、どこに居住しても地域社会と良好な関わりを持ち、町民同士の絆を繋ぎながら地域で孤立しないよう互いに支え合う体制づくりが急務であり、そのためには、まず、施設・設備の整備、人事の刷新、事業展開の見直しと拡充等々、解決しなくてはならない課題が多くありました。そのような中でもそれぞれが、健康で文化的な生活が営めることが大切であり、自分らしく自立できることが望ましく、また、心穏やかな生活が送れるよう町や多種団体と連携・協力しながら、一人ひとりに向き合った心の支援活動に努めてきました。

〈重点事項〉

- 1 生活復興に向けての生活相談等の活動に努めました。
- 2 各種ボランティア団体や NPO 法人と連携・協働し避難先でも町民が元気に生きがいを持ち、お互いが繋がり支え合いながら協力できる機会を提供しました。
- 3 広報活動により、町民の元気な姿を配信し共に明るく過ごせるよう支援しました。
 - ・社協日より「笑～る(えみ～る)」を月1回、7,500部を発行。
 - ・他、事業関係のチラシ発行。(随時)
 - ・HPの掲載と毎月の更新。
- 4 富岡町と連携し、臨時災害FMのラジオ局を利用し常に情報を発信できる体制作りをしました。
 - ・月～金 朝8:00～9:00(おがだいさわやかモーニング)
 - ・月～金 昼11:00～11:30(月:柳美里のふたりとひとり・火:ゆきと蓄音機とはひふへほ・水:渡辺俊美昼の森・木:佐藤敏郎の大人のたまり場
・金:富岡インサイドRADIO)
 - ・月～金 昼12:05～12:30(お昼だよ!おだがいさま)
 - ・月～金 夕17:30～19:30(おだがいさまラジオランド)
 - ・毎週金曜日 夜19:30～19:40(おみみのそばに)
 - ・毎週土曜日 昼12:05～13:00(とみおか76.9)
 - ・第4月曜日 昼11:30～11:40・夜19:30～19:40(町長の部屋)

- ・ 毎月 1 回 特番(月毎にテーマを決めて放送)
- ・ 毎月 1 回 浜通りつながるラジオ(南相馬ひばり FM・SEAWAVEFM いわき・おだがいさま FM、3局合同放送)
- ・ 協力団体による公開収録イベントの開催。

5 高齢者等サポート拠点施設の運営をとおし、原子力災害で避難している町民の方々の憩いと交流の場を提供し、引きこもりや孤立を防ぐ支援をしました。

(1) 開設からの利用者数の推移

① 平成 23 年度(2 月～3 月)	1,693 名	
② 平成 24 年度(4 月～3 月)	10,334 名	
③ 平成 25 年度(4 月～3 月)	12,426 名	
④ 平成 26 年度(4 月～3 月)	14,653 名	
⑤ 平成 27 年度(4 月～3 月)	7,671 名	
⑥ 平成 28 年度(4 月～3 月)	8,588 名	<u>合計 55,365 名</u>

※ 人数は、イベント・お茶会・サークル活動の参加者のみの人数を記載です。
 来客、会議、個人で視察等の人数は含まれておりません。

(2) 利用状況について

サークル活動、お茶会、体操(元気アップ、レクダンス)、子育てサロン等、センター内は、ほぼ毎日利用されました。

6 生きがい対策を目標に新しい文化の確立に努め、手仕事や特技・趣味活動から生まれる作品づくり活動を支援しました。

(1) 生きがいづくり教室事業

① 各教室開催(9 つ：フラダンス、ハングル語、みんなで歌う会、音読、社交ダンス、陶芸、一閑張り、絵手紙、スイーツ)

② 第二回 生きがいづくり交流会を開催しました。

開催日：11 月 14 日 会場：華の湯

参加者：延べ 133 名

(2) 物づくり事業

① 生きがいを持って物づくりの楽しさを知っていただく為、また同じ目標を持っている方々の交流を目的に研修会を 4 回実施。

- ・ 9 月 29 日 羊毛フェルトアクセサリー作り 16 名参加
- ・ 10 月 27 日 羊毛フェルトとみっぴー作り 14 名参加
- ・ 3 月 10 日 藍型染め体験 15 名参加
- ・ 3 月 23 日 チョーカーネックレス作り 20 名参加

(3) 畑隊事業

- ① 平成 24 年開園、構成員は「おだがいさまファーム」と「個人借用」で構成。
- ② 県中農林事務所より講師を招き、年間 1 回、講習会を開催。
- ③ 親睦と交流を図るため、外部研修 2 回開催。
- ④ 平成 28 年度をもって事業終了。

- 7 みなし仮設の孤独・ひきこもりを防止し、避難先での自治会活動促進に向けた取組を行うため、富岡町の協力の下、協力体制の構築を行いました。
- (1) 仮設・借り上げ自治会への物的・人的支援活動を行いました。
 - (2) 県外自治会やコミュニティ(柏崎市・東京都江東区東雲・埼玉久喜市)支援活動を行いました。
 - (3) まつりの開催
 - ① 夏まつり(郡山)・・・盆踊りとステージ発表
 - ② 福祉まつり(いわき)・・・作品展とステージ発表
 - (4) 遠足事業
 - ①交流会の旅 9月14日「米沢コース」「柏崎・寺泊コース」68名参加
 - ②富岡町民交流会 3月7日「松島方面」郡山・いわき地区合同開催 75名参加
 - (5) 料理教室の開催
 - ① 健康料理教室
 - ・四倉・平・泉玉露交流サロンで年間12回(各4回)実施
 - ・四倉・平・泉玉露交流サロンで男の料理教室年間6回(各2回)、合同1回実地
 - ② 味の素料理教室
 - ・各自治会、交流サロン等で開催 47回実地
 - ・男の料理教室 3ヶ所(郡山、いわき、福島) 年間11回実施
 - ・男の料理教室「川内、双葉、富岡」3町村合同料理教室を開催
- 8 各支援団体や福島県、富岡町との連携を強化し、避難している町民に対し快適な生活が営まれる体制づくりに努めました。
- (1) 仮設自治会支援者会議への出席。
 - (2) 各地区サロン活動への出席。
 - (3) 各仮設等の相談員との打ち合わせを実地。(ニーズに対応するため)
- 9 その他、状況に応じ避難者の要望に応えられるよう体制作りに努めました。
- (1) 帰町検討委員会の結成と開催、協議、試案の策定。
 - (2) 生活支援相談員と密に連携。
 - (3) 交流サロンの定例会の参加。
 - (4) 郡山地区仮設(南一丁目仮設、富田仮設)での支援者会議の参加。
- 10 自主的なボランティア活動を推進し、必要に応じた支援ができる各種ボランティア団体を育成し、活動ができるよう支援しました。
- (1) イベント事業
 - ①音楽関係者のミニコンサート、歌声喫茶の開催。
 - ②運動不足解消、介護予防の為の教室開催。
 - ③健康セミナーの一環としての健康相談会、料理教室の開催。
 - (3) 喫茶つつじ
 - ①コミュニティの維持、構築への協力。
 - ②傾聴ボランティアの受け入れ